

## キサンチン脱水素酵素

Cat. No. EXWM-1082

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** 様々なプリンおよびアルデヒド、特にヒポキサンチンに作用します。哺乳類の酵素は、基質がレチノイド結合タンパク質に結合している間に、オールトランスレチノールをオールトランスレチノエートに交換することもできます。真核生物由来の酵素は[2Fe-2S]、FAD、およびモリブデン中心を含んでいます。哺乳類の酵素は主にNAD依存性脱水素酵素 (EC 1.17.1.4) として存在します。精製中に、酵素は主にO<sub>2</sub>依存性の形態であるキサンチンオキシダーゼ (EC 1.17.3.2) に交換されます。この交換は、システインチオール酸化によって二硫化結合を形成すること (これはEC 1.8.4.7、酵素-チオールトランスヒドロゲナーゼ (グルタチオン-二硫化物) がグルタチオン二硫化物の存在下で触媒することができます) や、限られたプロテオリシスによって引き起こされることがあります。これにより不可逆的な交換が生じます。この交換は *in vivo* でも発生する可能性があります。

**別名** NAD<sup>+</sup>-キサンチン脱水素酵素; キサンチン-NAD<sup>+</sup> 酸化還元酵素; キサンチン/NAD<sup>+</sup> 酸化還元酵素; キサンチン酸化還元酵素

### 製品情報

**形態** 液体または凍結乾燥粉末

**EC番号** EC 1.17.1.4

**CAS登録番号** 9054-84-6

**反応** キサンチン + NAD<sup>+</sup> + H<sub>2</sub>O = 尿酸 + NADH + H<sup>+</sup>

**備考** このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

### 保管・発送情報

**保存方法** 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。